記者発表資料

平成２５年７月１６日
湯沢河川国道事務所

梅雨前線に伴う降雨に関する速報資料
～７月期として過去３０年間でもっとも高い水位を記録～

１０日お昼頃から断続的に降り続いた降雨により、雄物川上流部では水位が徐々に上昇しました。そのため、湯沢河川国道事務所では11日9時20分に注意体制、12日16時に警戒体制、同日20時にははん濫危険水位を超過したことから非常体制に移行し、危機管理対応を行っておりました。（13日18時に体制解除）

この洪水に関する速報資料を作成したので、お知らせいたします。

今回の洪水規模は、はん濫危険水位を約70cm超過する7月期としては、過去30年間でもっとも高い水位を記録（神宮寺地点）する洪水となりました。

※7月13日（防災情報第21報）記者発表の速報版を更新しています

国土交通省湯沢河川国道事務所では、雄物川上流部および玉川など６支川、総延長 115.9km を管理しています。

■添付資料

平成２５年７月梅雨前線に伴う降雨
《速報版》
平成２５年７月１６日

■速報版については、下記アドレスにも掲載しています。

※掲載ページ　：　http://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/

※発表記者会：横手記者会、秋田魁新報社大曲・湯沢支局

国土交通省湯沢河川国道事務所
湯沢市関口字上寺沢６４－２
電話０１８３－７３－５５４４
技術副所長　土田（つちだ）　恒年（つねとし）（内線２０４）
調査第一課長　畑山（はたやま）　作栄（さくえい）（内線３５１）

平成25年7月16日
国土交通省
湯沢河川国道事務所

平成２５年7月梅雨前線に伴う降雨《速報版》

《ポイント》
●７月期としては、直近３０年間で最高水位を記録（神宮寺観測所：大仙市神宮寺）
●大仙市強首地内の堤防整備（事業中）で、浸水被害を防止
●Ｈ２３年６月洪水で浸水した大仙市間倉地内で、土のうによる緊急対策を実施
●排水ポンプ車の出動により、内水被害を軽減

速報版に付き、今後情報が変更となる可能性があります。

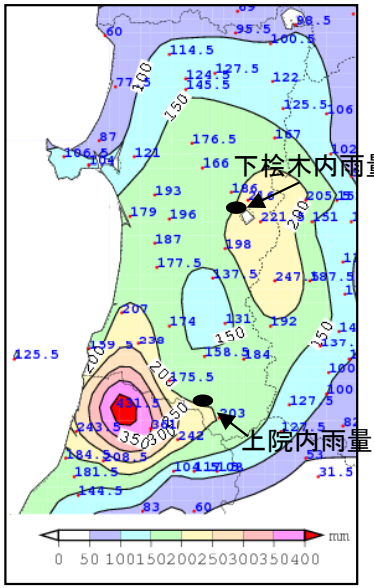
平成25年7月出水・降雨の概要

●東北地方に停滞した梅雨前線に向かかって、湿った南よりの風が流れ込み、活発化した前線の影響により、10日昼頃から断続的に雨が降り続いた。

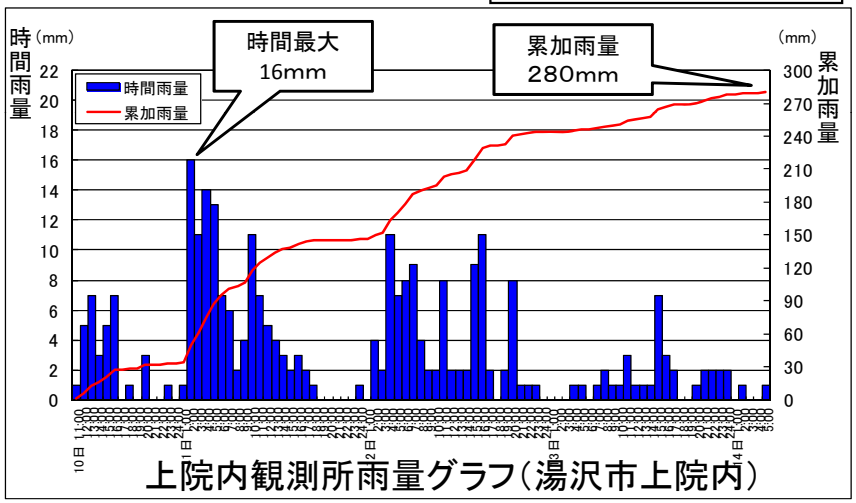
●降水量は、上院内（湯沢市上院内）で280mm、下桧木内（仙北市西木町）で251mm記録。 ※国交省雨量観測地点

●この降雨により、雄物川本川は7月期としては直近30年間で最高水位を記録（神宮寺観測所：大仙市神宮寺）する洪水となった。

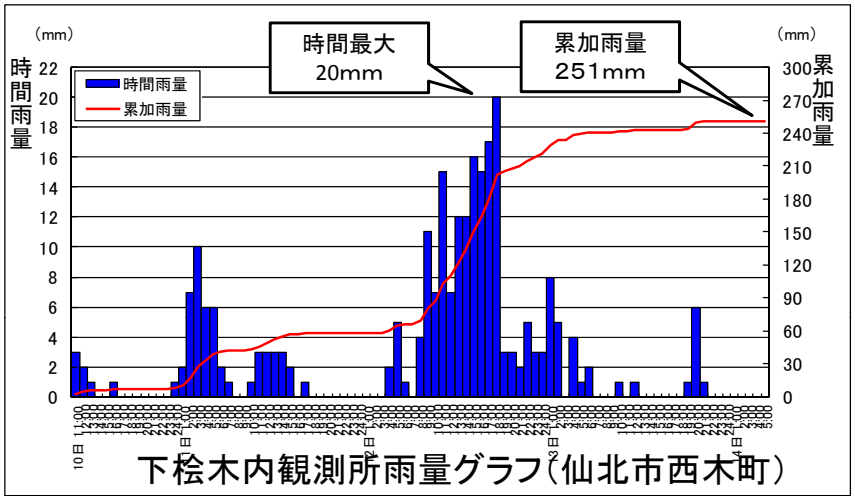
●秋田県内では、累加雨量 60～250mm程度の降雨を記録。



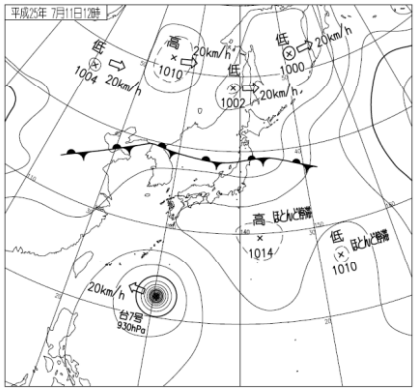
アメダス降水量（時別値）積算図
平成25年7月10日11時~14日5時
（出展：秋田地方気象台）

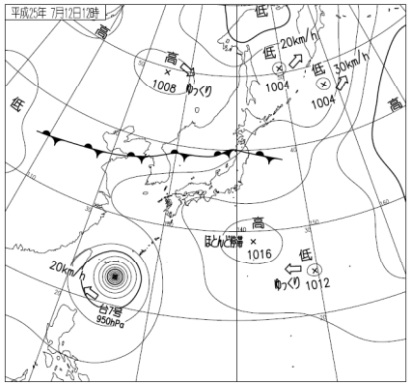


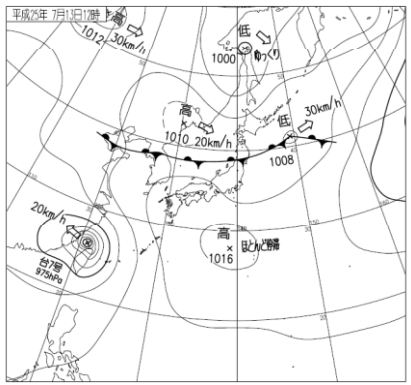
上院内観測所雨量グラフ（湯沢市上院内）



下桧木内観測所雨量グラフ（仙北市西木町）







秋田県内に梅雨前線が長期間停滞した。

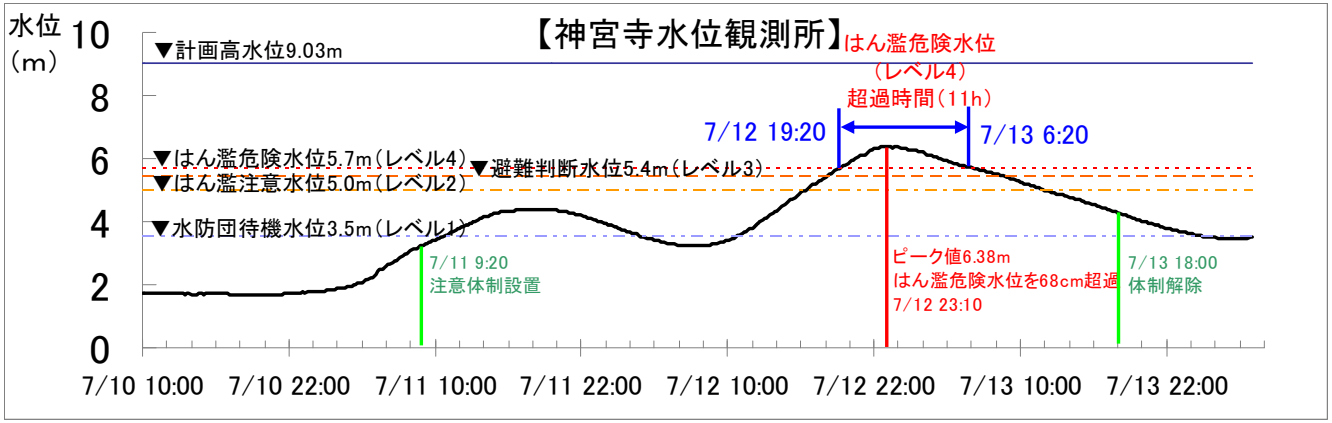
天気図（7月11日～13日の12時時点）
出展：秋田地方気象台

7月期としては、直近30年間で最高水位を記録（神宮寺観測所）

●神宮寺観測所（大仙市神宮寺）において、7月期としては直近30年間で最高水位を記録した。

●降り続いた雨の影響により、はん濫危険水位を11時間超過する洪水となった。（超過時間7月12日19:20～13日6:20）







神宮寺観測所（大仙市神宮寺）下流を望む（撮影日時：13日5:20）

直近30年間の7月期最高水位
＜神宮寺観測所＞

	水位
昭和57年	1.73
昭和58年	3.42
昭和59年	3.22
昭和60年	2.91
昭和61年	2.38
昭和62年	3.10
昭和63年	0.78
平成　1年	0.92
平成　2年	4.53
平成　3年	3.71
平成　4年	1.61
平成　5年	3.03
平成　6年	4.08
平成　7年	3.79
平成　8年	2.36
平成　9年	4.06
平成10年	2.72
平成11年	1.43
平成12年	2.82
平成13年	2.82
平成14年	4.76
平成15年	3.01
平成16年	5.17
平成17年	2.56
平成18年	1.80
平成19年	1.50
平成20年	1.91
平成21年 （最高水位観測日時）	5.18 （19日16:00）
平成22年	4.16
平成23年	3.32
平成24年	3.45

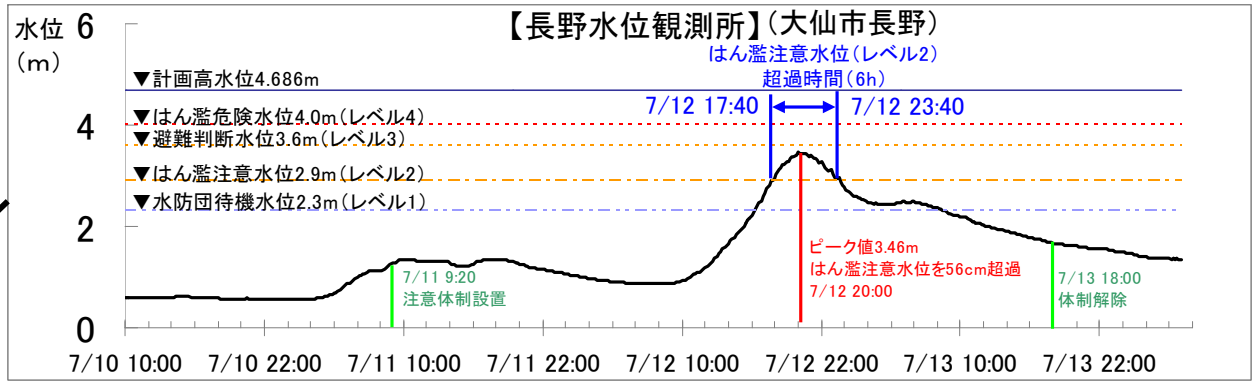
平成25年 7月11日～13日	6.38
最高水位観測日時	（12日23:10）

※赤文字は、直近30カ年の最高水位
※平成24年・平成25年の水位は、暫定値

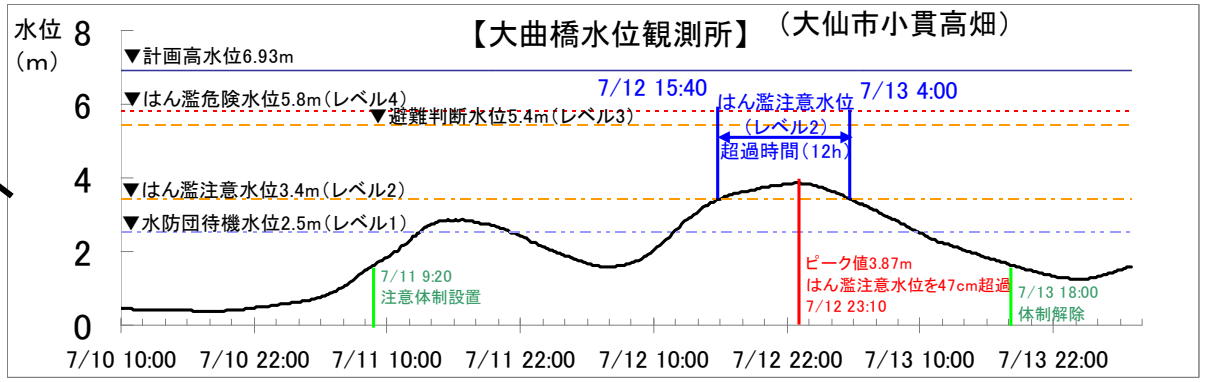
出典：国交省水位観測データ

出水の状況（他観測所においてもはん濫注意水位を超過）











浸水被害軽減対策と効果①



大型土のうによる緊急対策

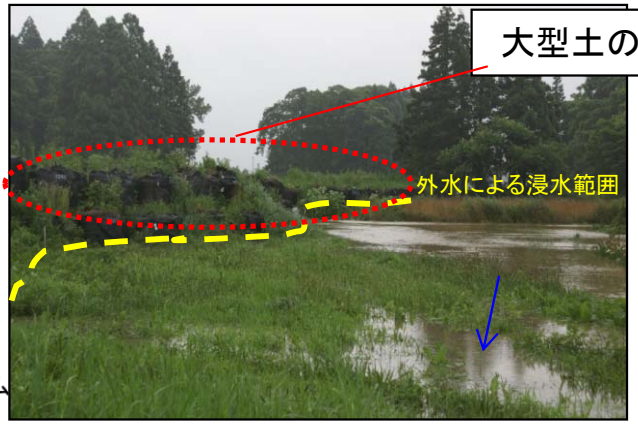
●雄物川の水位が地盤から約70cmの高さまで上昇しましたが、洪水前に緊急的に土のうを設置したため、心配された浸水被害の発生はありませんでした。
●大型土のう設置により、約0．5haの浸水被害を防止。

堤防の無い間倉地内において、大型土のうを設置し、浸水被害の未然防止対策を行った。

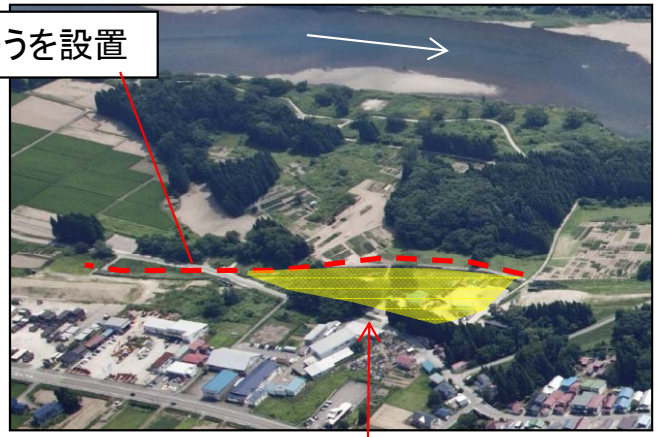


大型土のう126袋（延長約50m）を設置
（7月12日17時50分 設置完了）

緊急対策による効果



大型土のうにより外水の浸入を防止



想定される浸水範囲
（土のうを設置しなかった場合）
（浸水面積　約0.5ha）
（浸水戸数　1事業所）

浸水被害軽減対策と効果②



堤防整備による効果

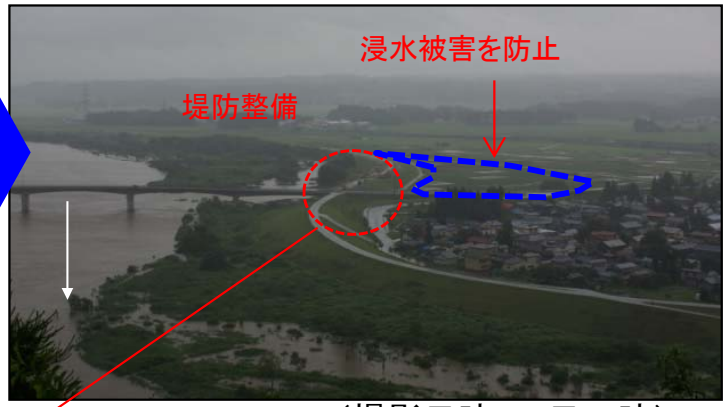
堤防の整備（事業中）により浸水被害を防止

- 平成23年6月の出水では、強首橋上流の地区で浸水被害が発生。
- 現在事業中の堤防整備により、約54haの浸水が解消。
  （こまちスタジアム約38個分に相当）

H23.6出水状況



H25.7出水状況



（撮影日時：12日15時）



現在事業中の堤防整備により、浸水被害を防止

浸水被害軽減対策と効果③



排水ﾎﾟﾝﾌﾟ車による排水活動

内水（宅地側にたまった水）を丸子川へ排水

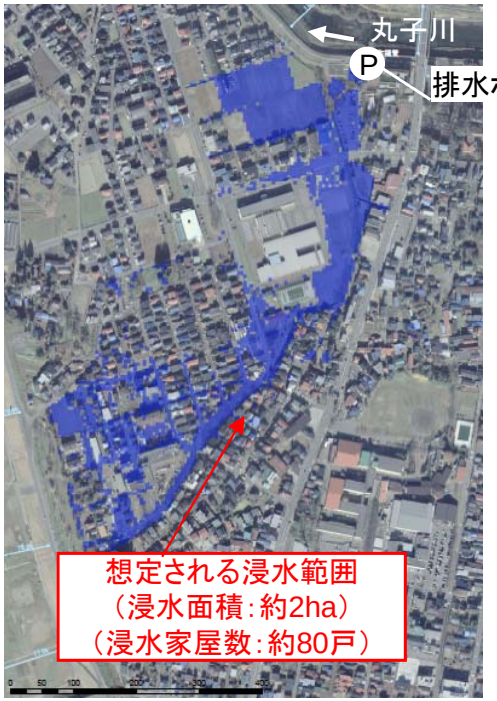




（撮影日：12日）

排水活動による効果

- 排水ポンプ車（断続的に約6時間稼働）により、9,900㎥の内水を排水。
（25mﾌﾟｰﾙ約28杯分に相当）
- 仮に、排水が行われなかった場合、周辺の地区においては、約2haの浸水が発生したと想定されます。
- 引き続き、梅雨期、台風期の洪水に対しても万全を期して参ります。



浸水被害軽減対策と効果④



大仙市角間川町地区

排水ﾎﾟﾝﾌﾟ車による排水活動



内水（宅地側にたまった水）を雄物川へ排水



（撮影日：12日）

排水活動による効果

- 排水ポンプ車（連続で約23時間稼働）により、82,800㎥の内水を排水。（25mﾌﾟｰﾙ約230杯分に相当）
- 仮に、排水が行われなかった場合、周辺の地区においては約10haの浸水が発生したと想定されます。
- 引き続き、梅雨期、台風期の洪水に対しても万全を期して参ります。



（参考1）主な時系列等

災害支部体制　●体制時間は、延べ57時間の対応

	注意体制	警戒体制	非常体制	警戒体制	注意体制	解除
河川	11日 9:20	12日 16:00	12日 20:00	13日 6:30	13日 13:00	13日 18:00

洪水予報

河川	水位観測所	第１報	第２報	第３報	第４報	第５報	第６報	第７報
雄物川	大曲橋（大仙市）	12日 16:40	12日 18:40	12日 19:40	13日 4:20	13日 6:30	13日 9:40	13日 12:50
雄物川	神宮寺（大仙市）							
玉川	長野（大仙市）	12日 18:20	12日 23:50	－	－	－	－	－

水防警報

河川	水位観測所	待機	準備	出動	待機	解除
雄物川	雄物川橋（横手市）	11日 9:30	－	－	－	13日 2:30
雄物川	大曲橋（大仙市）	11日 13:10	12日 14:00	12日 16:00	－	13日 10:20
雄物川	神宮寺（大仙市）	11日 10:50	12日 14:10	12日 16:40	13日 12:50	13日 16:50
玉川	長野（大仙市）	12日 16:30	12日 17:00	12日 18:00	－	13日 9:00

河川巡視

河川	出張所名	巡視時間
雄物川	大曲管内	１２日　１６時０４分 ～　１３日　１１時２４分

河川管理施設の操作（樋管等）

河川	出張所名	ゲート全閉操作施設数
雄物川	大曲管内	４１施設
雄物川	十文字管内	２施設

リエゾンの派遣（大仙市での活動状況）

●当事務所からリエゾン（災害対策現地情報連絡員）2名を大仙市災害対策本部に派遣。
●大仙市の情報（被害状況・避難勧告等）収集や当事務所災害対策支部からの情報の提供など、相互の情報共有を行いながら対応を行いました。





（撮影日時：12日）

照明車を利用した状況把握

●低い土地にある家屋等への浸水状況を把握するため、照明車 による監視を行いました。



（撮影日時：13日4:00）
大仙市北野目地区［雄物川左岸］

本出水で対応した人員

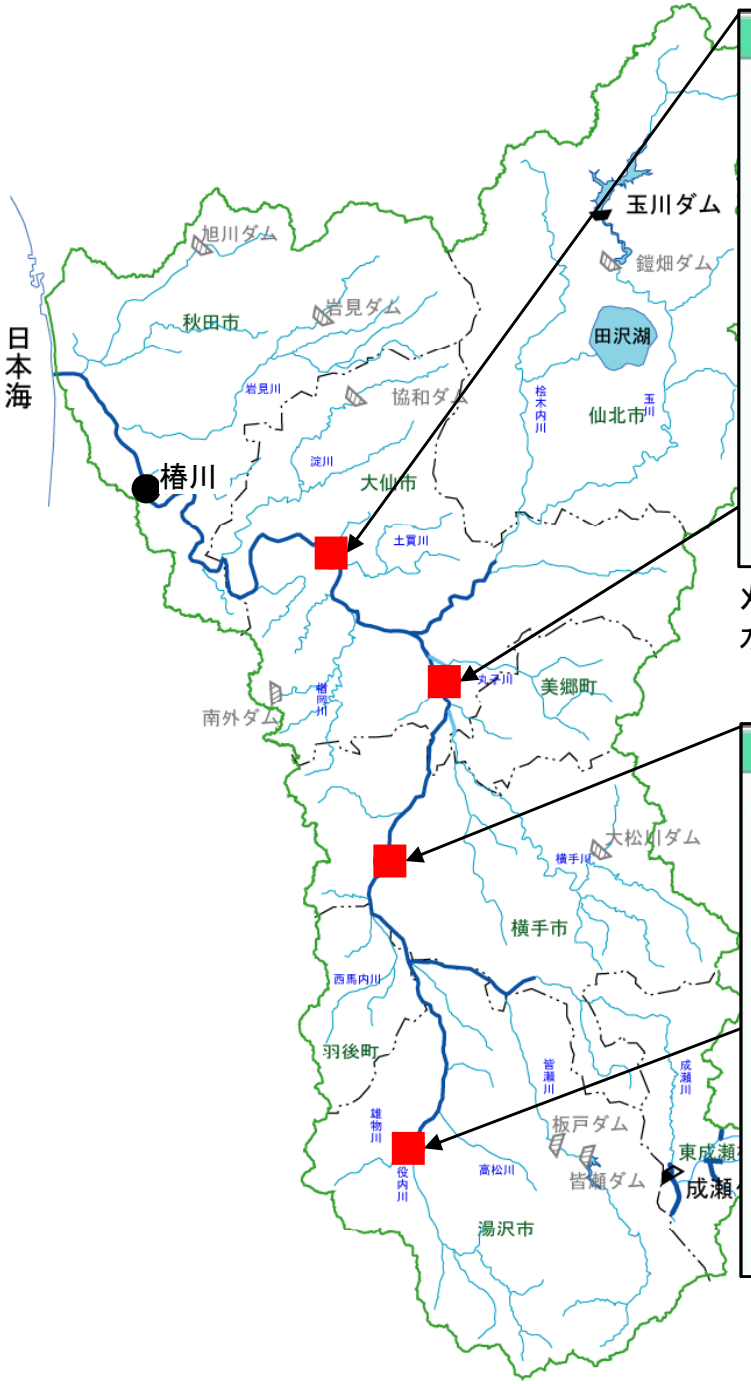


事務所職員	35 人
出張所職員	10 人
河川巡視員	22 人
流量観測業者	33 人
工事対応業者	24 人
樋管操作員	110 人
延べ人数	234 人

（撮影日時：13日1:00）

（参考2）河川水位の状況（カメラ映像）

※記載の水位は、水位観測所量水標の値です





刈和野橋水位観測所（４時００分）
水位７．０６ｍ（大仙市刈和野）



大曲橋水位観測所（４時１０分）
水位３．３６ｍ（大仙市小貫高）



雄物川水位観測所（４時１０分）
水位１．８５ｍ（横手市雄物川）



岩舘水位観測所（４時００分）
水位１．２１ｍ（湯沢市小野）